**EPA看護師1年目振り返りノート**部署　　　　　　　　　氏名

|  |  |
| --- | --- |
|  | 月　　日（　　） |
| 実施したこと |  |
| 覚えたこと |  |
| わからなかったことと |  |
| 困ったこと |  |
| 感想 |  |
| サイン | 所属長 | 教育担当責任者 | 実地指導者 | 教育専従看護師 |
|  |  |  |  |

**振り返りノートの活用方法**

＜前日分の振り返りノート＞　　　　　　　　　　　　　　　　　　＜当日分の振り返りノート＞

・所属長へ提出する。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・自宅で記入し、翌朝提出する。

・提出された振り返りノートを担当看護師が指導の参考にする。

・毎日15時に、看護管理室（教育専従看護師）へ本人が提出する。

・教育専従看護師は日本語添削後、翌日、日責者へ返却する。

例）月曜日：自宅で「振り返りノート」記入**⇒**火曜日：朝、日責者へ提出**⇒**その日の担当看護師に渡す**⇒**15時、本人が教育専従看護師へ提出**⇒**水曜日：教育専従看護師が日責者へ返却**⇒**本人へ返却（本人が新人臨床研修ファイル内へ入れる）

**EPA看護師2年目振り返りノート**

**✿　　月✿**

|  |  |
| --- | --- |
| **実施したこと** | **指導者欄** |
| **分からなかったこと** |  |
| **今後の計画** |  |

**✿　　月✿**

|  |  |
| --- | --- |
| **実施したこと** | **指導者欄** |
| **分からなかったこと** |  |
| **今後の計画** |  |

**EPA看護師（1年目）ステップアップシート**病棟　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　　　　実地指導者　氏名

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度単位の目標 | **１年目** | ①日本語能力試験N2合格。②日本語の文章を読み取ることができる。（看護記録、指示、伝達ノート、会議議事録など）③相手の言っている内容を正確に理解できる。自分が伝えたい事を正確に相手に伝えることができる。④担当患者の看護（記録を除く）ができる。 |
| ステップ | ステップ1 | ステップ2 | ステップ3 | ステップ4 | ステップ5 |
| 達成予定日 | 月　　　日 | 月　　　日 | 月　　　日 | 月　　　日 | 月　　　日 |
| 目標 | □病院の雰囲気に慣れる□勤務体制に慣れる | □担当患者の看護技術が実施できる（侵襲を伴わないもの）□日勤のタイムスケジュールがわかる□情報収集ができる□自己の行動の報告ができる | □担当患者の看護技術が実施できる（侵襲を伴うものも含む） | □スタッフとコミュニケーションがとれる | □複数の担当患者の看護ができる（侵襲を伴うものを含む）□伝達ノートの内容が理解できる |
| フォロー体制 | □見学後、スタッフと一緒に看護技術を実施（侵襲を伴わないもの） | □スタッフと一緒に担当患者の看護技術を実施（侵襲の伴わないもの） | □スタッフの指導を受けて患者の看護技術を実施（侵襲を伴うものを含む）※１人でできるケア・技術も、必ず前後の確認を行う | □スタッフの支援を受けて患者の看護技術を実施（侵襲を伴うものを含む）※1人でできるケア・技術も、必ず前後の確認を行う |
| 知識 | □部署の特徴を知る□部署目標・組織図を知る□部署のルールを知る□物品の場所を知る | □日勤業務の流れを知る□スタッフの顔と名前を覚える□患者の情報収集の方法を知る | □各部署への連絡方法を知る□循環器で使用する薬剤がわかる□心臓の解剖がわかる□狭心症の病態がわかる□心筋梗塞の病態がわかる□心不全のがわかる□申し送りノートから周知事項を知る※循環器チェックリスト使用 | □入院の一連の流れを知る□退院の一連の流れを知る□心カテ入院の流れがわかる□クリティカルパスの使用方法がわかる□危険な不整脈がわかる□救急カートの物品内容がわかる□ワーファリン表の使用方法がわかる | □担当看護師の役割がわかる□HCUからの退室患者受け入れの流れを知る□心外患者の対応がわかる□感染隔離部屋の対応がわかる□冠動脈CTの検査の流れがわかる□経食エコーの検査の流れがわかる□輸血の流れがわかる□血液製剤の投与方法がわかる□麻薬・劇薬の取扱がわかる |
| 記録 |  | □電子カルテの基本操作を知る□検温表の入力方法を知る | □検温表の入力（バイタルサイン）ができる | □検温表の入力（簡易記録以外）ができる□プロフィール用紙の内容を入力できる | □検温表の入力（簡易記録）ができる□SOAPの書き方を知る□経時記録の書き方を知る□テンポラリーの書き方を知る□プロフィール用紙の不足分を確認し、入力できる |
| 技術 | □ごみの分別ができる□清潔ケアで必要な物品の準備ができる | □電子カルテから患者情報を収集できる□移動の介助ができる□環境整備ができる□ナースコールに出ることができる（対応は除く） | □情報収集を基に一日の計画が立てられる□剃毛ができる□点滴の準備ができる□モニターのセッティングができる□吸引ができる□吸入ができる□血糖測定ができる□12誘導が正確にとれる | □点滴の患者への実施ができる□心カテの前処置ができる□カテ後の対応ができる□バルーン留置ができる□サーフローの留置ができる□CVの挿入の介助ができる□CVの管理ができる□内服薬の管理ができる□ポンプの操作ができる□インスリン注射ができる※機会があればカテ見学 | □心外術前準備ができる□ドレーン管理ができる□経管栄養・PEGの管理ができる□各種培養検査が正確に採取できる□行動抑制が正しくできる□ナースコール対応ができ、報告・相談ができる□血液製剤の管理ができる |
| 態度 | □接遇マニュアルに基づいた身だしなみができる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□知識・技術の修得に、常に取り組んでいる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□責任を回避したり他に転嫁しない□使用物品は責任もって片付け、整理・整頓を心がけることができる　　　　　　　　　　　□コスト意識を持ち、機材を大切に扱うことができる　　　　　　　　　　　　　　　　　□患者を満足させる対応ができる□自分から挨拶を心がけ、節度ある態度で相手と関わる事ができる　　　　　　　　　　　　□性格や意見の異なる人とも感情的にならず、対応する事ができる　　　　　　　　　　　□病院及び部署のルールを守ることができる□遅刻・早退・休みの連絡が必ずできる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□いつも笑顔で相手（患者・患者家族・業者・職員等）　　　　　　　　　　　　　　　　□優先順位を考えた行動が取れる□時間を守って行動できる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□提出物（各種届出等）の期限を守る事ができる□報告・連絡・相談ができる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□相手の立場に立って物事を考え、チーム全体を考えた行動・発言ができる |
| 備考 |  |  |  |  |  |
| 達成日 | 月　　　日 | 月　　　日 | 月　　　日 | 月　　　日 | 月　　　日 |
| サイン | 教育担当責任者印 | 実地指導者印 | 教育担当責任者印 | 実地指導者印 | 教育担当責任者印 | 実地指導者印 | 教育担当責任者印 | 実地指導者印 | 教育担当責任者印 | 実地指導者印 |

**EPA看護師（2年目）ステップアップシート**病棟　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　　　　実地指導者　氏名

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度単位の目標 | **２年目** | ①日本語能力検定N2合格。②看護記録が正しく書ける③循環器疾患の知識を深め、退院指導を行うことができる。④メンバーとしての役割ができる。カンファレンス、申し送りノートの内容が理解できる。⑤ラダーⅠを目指す。 |
| ステップ | ステップ1 | ステップ2 | ステップ3 | ステップ4 | ステップ5 |
| 達成予定日 | 月　　　日 | 月　　　日 | 月　　　日 | 月　　　日 | 月　　　日 |
| 目標 | □心不全の病態、治療、診断、看護が理解できる□SOAPの記録が正しく書ける□個々の申し送りの内容が理解できる□日々のカンファレンスに参加できる | □心不全の看護計画立案ができる□心不全患者の退院指導ができる□致死的不整脈出現時の対応ができる | □心筋梗塞の病態、治療、診断、看護が理解できる□狭心症の病態、治療、診断、看護が理解できる | □心臓血管外科オペ出しができる□心外術後の創管理、ドレーン管理ができる□心カテ（PCI、PTA、CAG）の違いがわかる | □ペースメーカー挿入の看護が理解できる□心カテ（アブレーション）の看護が理解できる□人工呼吸器使用患者の看護が理解できる |
| フォロー体制 | □リーダー、指導者がフォローする□スタッフの支援を受けて5名以上の担当患者を受け持つ□スタッフの指導を受けて受持ち患者を受け持つ |
| 知識 | □心不全の病態□心不全の治療□心不全の診断□心不全の看護□感染隔離部屋の対応がわかる□内服薬の知識 | □心不全の指導項目がわかる□致死的不整脈がわかる　・VT　・VF□致死的不整脈出現時の対応がわかる | □心筋梗塞の病態がわかる□心筋梗塞の診断がわかる□心筋梗塞の治療がわかる□心筋梗塞の看護がわかる□狭心症の病態がわかる□狭心症の診断がわかる□狭心症の治療がわかる□狭心症の看護がわかる | □ドレーンの挿入部位、排液の性状を観察できる□創部管理ができる□冠動脈CTの検査の流れがわかる□経食エコーの検査の流れがわかる□心カテ見学をし、検査の流れを理解できる□血液製剤の投与方法がわかる | □ペースメーカーの適応疾患が理解できる（AVB）□アブレーションの見学（AFL、PSVT）□終末期患者の看護がわかる□人工呼吸器使用患者の観察ポイントがわかる□急変・緊急時の対応がわかる□DCの対象、操作方法がわかる |
| 記録 | □SOAPの記録が正しく書ける□経時記録が書ける□テンポラリーの記録が正しく書ける | □看護計画の立案ができる□看護計画の評価ができる□病態のアセスメントができる□クリティカルパスの使用方法が分かる（□ペースメーカー　□心外手術）□サマリーの記入ができる |
| 技術 | □電子カルテから患者情報を収集できる□CV挿入の介助、管理ができる□内服薬の管理ができる□HCU退室患者の受入れができる□輸血ができる□経管栄養ができる□痰培養、血液培養を採取できる | □パンフレットを使用し退院指導ができる□栄養指導の依頼ができる□内服自己管理移行への指導ができる□ステップ1の振り返り | □パンフレットを使用し退院指導ができる□12誘導の実施、評価ができる□患者の状態変化を医師に報告できる□ステップ2までの振り返り | □心外術前の準備ができる□心外術前オリエンテーションができる□ドレーン管理ができる□血液製剤の管理ができる□ステップ3までの振り返り | □PMI後の管理ができる□自己検脈の指導ができる□パンフレットを用いて指導ができる□人工呼吸器の管理ができる□挿管・抜管の介助ができる□挿管中の管理ができる□DCの介助ができる**□死後の処置ができる**ステップ4までの振り返り |
| 態度 | □報告・連絡・相談できる□知識・技術の修得に、常に取り組んでいる□相手の立場に立って物事を考え、チーム全体を考えた行動・発言ができる　　 |
| 備考 |  |  |  |  |  |
| 達成日 | 月　　　日 | 月　　　日 | 月　　　日 | 月　　　日 | 月　　　日 |
| サイン | 教育担当責任者印 | 実地指導者印 | 教育担当責任者印 | 実地指導者印 | 教育担当責任者印 | 実地指導者印 | 教育担当責任者印 | 実地指導者印 | 教育担当責任者印 | 実地指導者印 |